食物アレルギー対応マニュアル

- ◆異変に気がついたら、まずは人を集める
- ◆下記の症状をチェックして、すばやく重症度を判断する
- ◆<u>急激に変化する</u>ため、ピークを越えるまでは注意深く観察する
- ◆悪化が予想される場合には症状の出現を待たずに次の対応へ
- ◆少なくとも1時間は観察し、完全によくなるまで<u>目を離さない</u>

<東京都食物アレルギー緊急時対応マニュアルより引用、一部改変>

全身の 症状 □ ぐったり□ 意識もうろう□ 尿や便を漏らす□ 脈が触れにくいまたは不規則□ 唇や爪が青白い

呼吸器 の症状 □ のどや胸が締め付けられる□ 声がかすれる□ 犬が吠えるような咳□ 息がしにくい

□ 持続する強い咳き込み□ ゼーゼーする呼吸

□数回の軽い咳



消化器 の症状 □ 持続する強い(がまんできない)お腹の痛み

□ 繰り返し吐き続ける

□ 中等度のお腹の痛み

□ 1 ~ 2回のおう吐□ 1 ~ 2回の下痢

□ 軽いお腹の痛み (がまんできる)

□ 吐き気

目・口・ 鼻・顔面 の症状

皮膚の 症状 上記の症状が 1 つでもあてはまる場合 □ 顔全体の腫れ □ まぶたの腫れ □目のかゆみ、充血

□ 口の中の違和感、唇の腫れ □ くしゃみ、鼻水、鼻づまり

□強いかゆみ

□ 全身に広がるじんま疹□ 全身が真っ赤

□ 軽度のかゆみ□ 数個のじんま疹

□ 剱仙のじんます

1つでもあてはまる場合

1 つでもあてはまる場合

- ①ただちにエピペンを使用する
- ②救急車を要請する (119番通報)
- ③その場で安静を保つ (歩かせない)
- ④その場で救急隊を待つ
- ⑤可能なら内服薬を飲ませる
- ⑥仰向けにして足を上げる

緊急

- ①内服薬を飲ませ、
 - エピペンを準備する
- ②速やかに医療機関を受診する (救急車の要請も考慮)
- ③急速に進行する場合は 左記の対応を行う
- ④座位にして会話しながら 観察すると、 重症化の判断がしやすい

受診

①内服薬を飲ませる

②急速に進行する場合は 左記の対応を行う

注意

ぐさいたま市民医療センター

氏名